

川は命を抱き育む水の流れ  
見るだけで人の心を癒してくれます

丹生ダム広報紙

季刊 たかとき川

2007 Vol. 43

監修：高時川治水対策促進協議会

発行：独立行政法人 水資源機構 丹生ダム建設所

秋翠

丹生谷の  
雪山を  
重ねて  
奥へ

## 丹生ダムからのお知らせ

丹生ダムホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/niu>

## 「淀川水系河川整備計画原案 丹生ダム建設事業についての意見交換会」が開催されました



高時川沿川の皆様から「淀川水系河川整備計画原案(丹生ダム建設事業)」へのご意見・ご提案をお聞きするための意見交換会が3会場(余呉会場・高月会場・長浜会場)で開催され、合計260名の方々が参加されました。意見交換会でのご意見・ご提案については、国土交通省近畿地方整備局にて別途整理され、ホームページ等で公開される予定です。

余呉会場：平成19年11月 8日(木) 参加者 75名  
高月会場：平成19年11月14日(水) 参加者 65名  
長浜会場：平成19年11月19日(月) 参加者 120名

## EVENT

余呉町

### ～平成20年3月中旬頃まで 「余呉湖ワカサギ釣り」

○内容／余呉湖のワカサギは体長約6cmと他の湖沼のものに比べ大変小さいのが特長です。初めての方でも釣りを楽しんでいただけますが、防寒具は十分に準備して下さい。  
○場所／ビジターセンター釣桟橋  
○問合せ先／余呉町漁業協同組合(ビジターセンター内)  
☎ 0749-86-3033



湖北町

### ～平成20年1月6日(日) 「イルミネーションフェスタ2007 ～10th Anniversary～」

○内容／今年で10年目となる湖北の冬の夜を彩るイルミネーションフェスタ。約15mの巨大なツリーをはじめ動物やキャラクターのイルミネーションなどファミリーにも人気です。  
○場所／湖北町役場庁舎西側公園  
○問合せ先／イルミネーションフェスタ運営委員会(湖北まちづくり課内)  
☎ 0749-78-8305

## QUIZ

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様にプレゼントをお送りしています。

今回のクイズは...

雪深い湖北で、春の到来を告げるものはいくつかあります。「○○○水」もその一つといわれています。では○○○とは何でしょうか?

皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

### 【クイズ解答のあて先】

ハガキには「クイズの解答・住所・氏名・年齢・性別・職業」を明記してください。また「たかとき川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてご記入下さい。  
〒529-0522 余呉町坂口819(郵便番号は必ずお書きください)  
水資源機構 丹生ダム建設所 広報誌係

\*クイズの締切は平成20年1月31日(木) 付消印まで有効です。

【たかとき川・42号】のクイズの答え

《国》

前号のクイズに多数の御応募ありがとうございました。抽選の結果、下記の方々が当選されました。

### クイズ当選者(応募総数82枚)

川瀬 善隆様 笹治 宏征様 中田 セツ子様 速水 めぐみ様  
北村 美恵子様 清水 雅久様 野村 厚雄様 脇坂 久千代様  
北本 榮吾様 杉田 和可子様

プレゼント申し込みの際提供された個人情報、プレゼント送付のために使用させて頂くほか、統計データとして個人識別性のない形でのみ使用します。断りなく第三者と共有したり、第三者に提供したりすることはありません。

長浜市

### 平成20年1月10日(木)～3月10日(月) 「長浜盆梅展」

○内容／今年で57回目を迎え、歴史・規模ともに「日本一の盆梅展」として親しまれています。開花時期に応じ、300鉢の中から約90鉢を純和風の座敷にずらりと展示します。中には、高さ3m近い巨木や樹齢400年を超える古木もあります。  
○場所／慶雲館(長浜市港町)  
○問合せ先／長浜市観光振興課  
☎ 0749-65-6521



### 平成20年1月10日(木)～3月10日(月) 「浅井盆梅展」

○内容／樹齢数百年を越える大きな鉢植えの梅の展示。会場内には新春を感じる、ふくよかな梅の香りがたどります。  
○場所／浅井ふれあいの里 プラザふくらの森(長浜市内保町)  
○問合せ先／プラザふくらの森  
☎ 0749-74-8282



### 平成20年2月10日(日)～4月18日(金) 「大通寺馬酔木展」

○内容／白やピンク、紅色の釣り鐘状の愛らしい花を咲かせる馬酔木(アセビ)の盆栽約70鉢を大通寺の境内に展示します。  
○場所／大通寺(長浜市元浜町)  
○問合せ先／大通寺 ☎ 0749-62-0054

編集後記

今回は高時川の魅力を少しだけ紹介させていただきました。紹介した景色や場所はそれぞれ素晴らしいところですが、紹介して下さった方にはそれに加えその景色や場所に人間との関わりを感じたり、実際に関わったりしたことがあるため、その感動はよりいっそう大きなものとなっているのかもしれませんが、人間は自然に生かされているように自然も人間と関わることでよりいっそう魅力的な存在になり感動を与えてくれるように思いました。私もふるさとの川を思い出して機会があれば歩いてみようと思います。きっとみなさんにも胸の中にしまいでいる川の魅力があると思いますので、それを頼りに少し川岸を散歩してみたいかがでしょうか。余裕があれば俳句を詠んだりスケッチをしたりしてみてもいいかもしれません。それでは皆様、よいお年をお迎え下さい。

俳句／雪山を重ねて奥へ 丹生の谷

谷口秋翠

表紙撮影／余呉町菅並 平成14年1月撮影